

さいがいじ がいこくじんしえん ひつよう
災害時外国人支援に必要な

つうやく ほんやく
通訳・翻訳スキルについて

金城学院大学

文学部 英語 英米文化学科 教授

水野 真木子

ほんじつ おも 本日の主なトピック

- ^{にほん} ^{うち} ^{こくさいか}
日本の内なる国際化
- ^{さいがい} ^{たげんご} ^{しえん}
災害と多言語支援
- ^{さいがいじ} ^{つうやく} ^{ほんやく} ^{とくちょう} ^{りゅういてん}
災害時の通訳翻訳の特徴と留意点
- ^{つうやくしゃ} ^{ほんやくしゃ} ^{やくわり} ^{りんり}
通訳者・翻訳者の役割と倫理
- ^{さんこう} ^{さいがい} ^{かくだんかい} ^{ひつよう} ^{ようご} ^{ひょうげん}
(参考)災害の各段階で必要な用語・表現

にほん うち こくさいか 日本の「内なる国際化」

外国人人口の増加

- 観光客の増加
- 在留外国人の増加

特に2019年4月より施行された改正入管法により

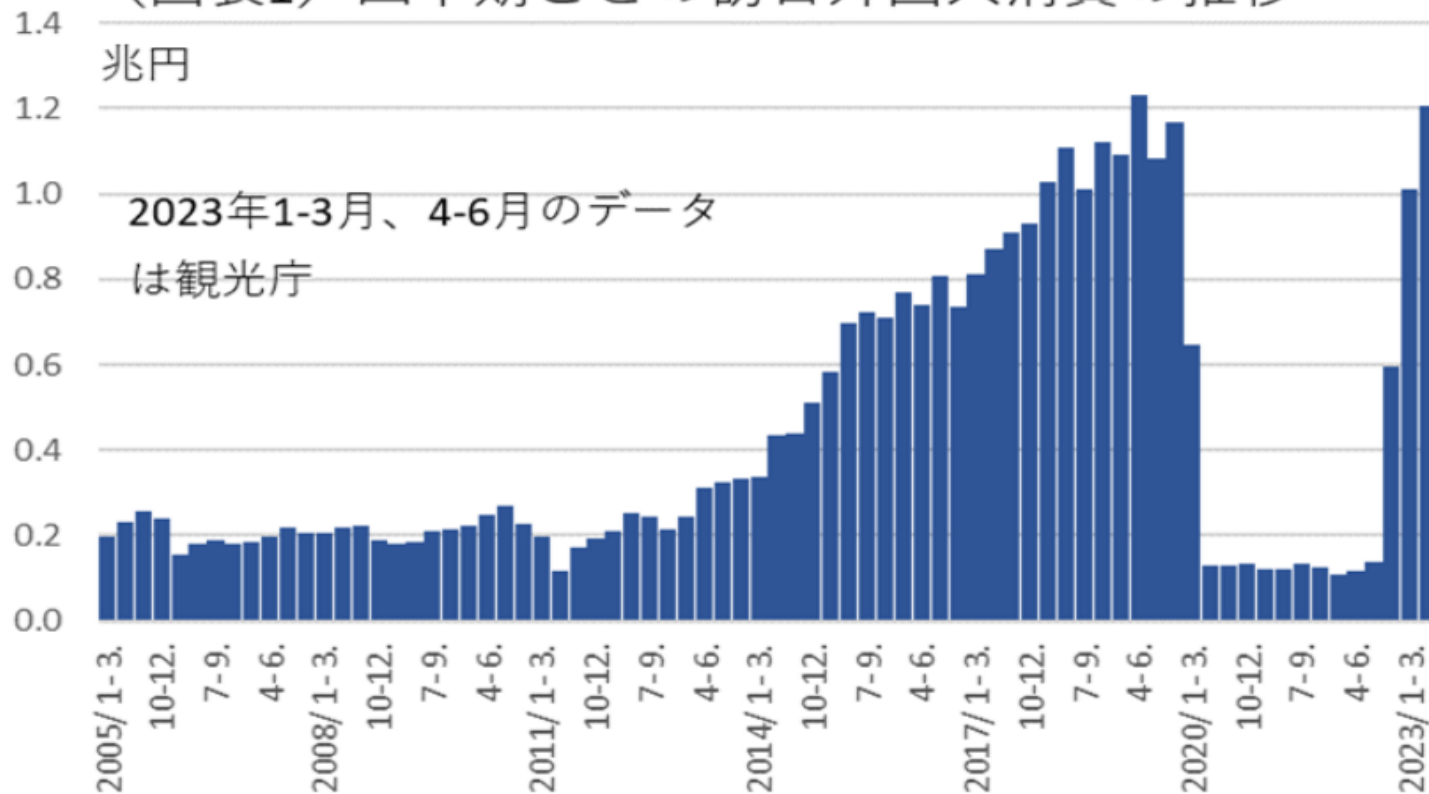
外国人労働者受け入れ拡大

外国語を必要とする社会になりつつある日本

ほうにち がいこくじん しょうひ すいい

訪日外国人の消費の推移

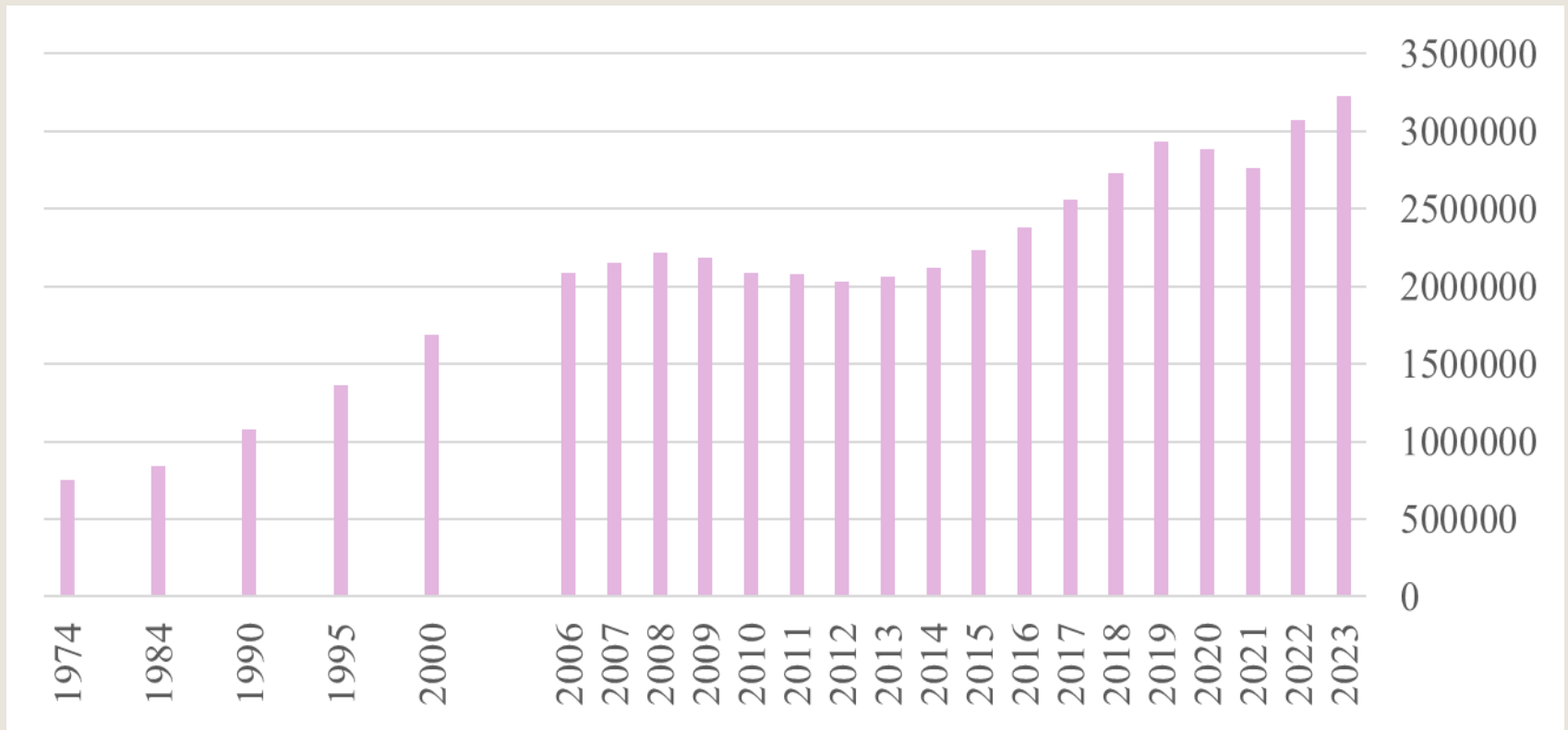
(図表1) 四半期ごとの訪日外国人消費の推移



出所：内閣府、観光庁

ざいりゅう がいこくじんすう すいい ほうむしょうとうけい 在留外国人数の推移（法務省統計）

ねん がいこくじんとうろくしゃすう まん にん ぜんじんこう
2023年における外国人登録者数は322万3858人（全人口の2.66%）



がいきくじん ちよくめん かべ 外国人が直面する壁

- ことばの壁
- 文化の壁
- 制度の壁

さいがいとう ゆうじ さい かべ
災害等の有事の際、このような「壁」がより

おお
大きなものになる。

がいきくじん ひさいしゃ しえん じゅうよう
外国人被災者の支援が重要なテーマ

ゆうじ さい しえん あゆ 有事の際の支援の歩み

- H7 阪神・淡路大震災

「外国人地震情報センター」による多言語ホットライン
情報提供に際してのことばの問題が浮き彫りになる

- H16 中越大震災

多言語情報発信(多文化共生センターや東京外国語大学との連携)
避難所巡回(全国初)

- H19 中越沖地震

多言語支援センター(全国関係団体の協力)

- H23 東日本大震災

多言語支援センター・避難所巡回

→ 全国の地方自治体・国際交流協会、地域に暮らす外国人
住民を対象に、災害時における多言語情報支援の仕組み
が強化されている

さいがいじ ほんやく つうやく

災害時の通訳翻訳

- 災害発生時の情報提供
- ライフラインに関する情報提供
- 病院や交通、火災予防、ごみ・がれき、下水道・ガスなどに関する情報提供
- 避難所でのコミュニケーション支援
- 罹災申請証明書発行、入管からのお知らせなど、専門的な情報提供
- 生活再建について、法律家などの専門家との間のコミュニケーション支援

時とともに、即時性を求められる情報から、より長期的・公的なレベルの情報へと、扱う内容が専門的かつ複雑になる。

さいがいじ ほんやく つうやく とくちょう 災害時の通訳・翻訳の特徴

- 通常のコミュニティ通訳でそれぞれ別分野として考えられている「医療」「司法」「行政」に関わる知識が、総合的に必要とされる
- 言語支援の内容が人の生命や人生に直結するので、**正確性**(せいかくせい)と**迅速性**(じんそくせい)が必要

ふだん かつどう ちくせき ゆうじ さい きのう じんざい
普段の活動の蓄積と、有事の際に機能しうる人材の
ネットワーク化が重要

さいがいにほんやくりゅういてん 災害時の翻訳における留意点

迅速性(じんそくせい)

- 各言語チームでの役割分担

翻訳に専念する人と固有名詞のリサーチを担当する人、など

(例:地名の正しい発音:「長島」(「ながしま」か「おさしま」か、など)

正確性(せいかくせい)

- 母語話者を中心とした第三者による校閲
- 正確性が確保できない場合は、翻訳・掲載しない

(参照:東京外国語大学による多言語情報支援)

* 機械翻訳の限界

例)「津波防災ひろめ隊」→Tsunami spread Corps site(国交省HP)

ほんやく やくだ 翻訳に役立つ サイトラ (Sight-translation)

- 本来は、原稿を目で追いながら通訳すること
- 順送りに訳すために、文章の構造がわかるように原稿に手を加える
- 原稿を見ながら、訳していく
- サイトラの練習は、わかりにくい日本語の文書の特徴を学ぶのに役立つ
- 原文の理解がしやすくなり、翻訳が楽になる。

ほうほう サイトラの方法

- 与えられた原稿を、情報の単位ごとに切って、スラッシュを入れる
- 主部と述部をはっきり示しておく
- 要素同士の係り具合がわかるようにしておく
- 並列情報は番号などで示しておく
- 知らない単語や訳語が出にくい表現など、前もって訳語を記入しておく

サイトラの例

避難所での集団生活では、^①感染性胃腸炎等の^②消化器系感染症などが流行しやすくなります。// 避難所の生活者や支援者は、こまめに手洗いを励行するよう心がけてください。// 可能であれば、^①擦り込み式エタノール剤や^②ウェットティッシュを世帯単位で配布するのが望ましいです。// *rub-in ethanol*

発熱・せきなどの症状がある方は、避難所内に風邪などの病気を流行させないために、軽い症状であっても、マスクを着用しましょう。// 長引くときには結核などのおそれもあります。// *tuberculosis*

下痢や嘔吐などの症状がある方は、脱水にならないよう水分補給を心がけましょう。// また、周囲に感染を広げないように、手洗いを励行してください。//

これらの症状がある方は、速やかに医師の診察を受けてください。// 可能であれば、入院を含む避難所外での療養を検討しましょう。//

また、けがをした場合には、そこから破傷風に感染するおそれがあります。// 土などで汚れた傷を放置せず、医療機関で手当を受けるようにしてください。//

さいがいに つうやく りゆういてん 災害時の通訳における留意点

- 発言に対して省略したり、付け加えたり、修正したりしないこと
- 発言が聞き取れなかったり分からなかったりした場合は、それを明確にするよう求めること
- そのまま訳して伝わらない場合は、説明を加えてもよいが、メッセージを変えてはならない
- 数字、人名等の固有名詞は正確に覚える
- * ノートテイキングのスキルが必要
- 自分が誤訳したとわかったら、それをすみやかに表明すること

ノートテイキングの必要性

ひつようせい

- スピーチを理解するためには、新たに入力される情報を、それ以前の情報と統合しなければならない。
- その際、記憶を活性化させる必要がある。
- 人間が活性化できる記憶の容量は限られている。
- 長い文の場合、負担の大きい情報を理解しようとすると、すぐに飽和状態になってしま、処理が遅くなる。

つうやくしゃ ようりょう かぎ きおく ふたん
通訳者は、容量の限られた記憶に負担をかけないように、メモを取^とる。

こうりつてき ほうほう 効率的なノートテイキングの方法

- 縦長にメモを取る
- 全部書こうとしない
- メモと聞き取りのバランスを取る
- 視覚的に分かりやすいものにする
- 漢字や記号を駆使する
- どの言語で取ってもよい
- 内容の区切りがわかるような線を入れる

ノートテイキングの例

原文

子供さんは苦しそうで息が荒いので、胸のレントゲンを撮る必要があります。また、血液検査をして、病気の時に増える白血球の数を調べます。私の考えでは、肺炎球菌かヘモフィルス菌による肺炎のようです。これには良い薬がありますので、処方しておきます。

メモ例

子
苦し
息荒
→ 胸レント

+ 血検査 → 白血球数
しる

私考
Pneumo球菌 → 肺炎
or
ヘモフィルス →
↑
Good薬
→ 処方

せいかく

つうやく

ほんやく

ひつよう

ちしき

正確な通訳・翻訳に必要な知識

- 地震や災害の基礎知識
- 罹災証明書の取得
- 国民健康保険料の減免
- 生活資金の支援体制
- 健康管理

コミュニティ通訳者・^{つうやくしゃ}翻訳者^{ほんやくしゃ}倫理^{ろんり}原則^{げんそく}

- 守秘義務を守る
- 原発言に忠実になる(正確性)
- 公平・中立な立場を取る
- 文化に対する認識を持つ
- プロ意識を持つ(能力の自覚・継続学習)
- 職務範囲を明確にする

*アドボケイト(擁護者)の役割

災害時の通訳翻訳には、倫理原則をどのように応用するのだろうか

しゅひ ぎむ まも 守秘義務を守る

- 業務上知りえた秘密を外部に開示してはならない
- 業務上知りえた秘密を自己の利益のために利用してはならない

例外) 公的な命令、あるいは法律によって情報
開示が求められるとき
人の命が関わっているとき

※ 通訳者自身の個人情報についても、外部にもれないような
注意が必要

せいかく つうやく 正確に通訳する

●原発言に対して、付け加えたり、省略したり、歪曲したり、編集したりすることなく、元のメッセージの内容を忠実に伝えなければならない。

●文体やレジスター(その場に特有の言語使用)にも忠実に訳さなければならない。

※「意訳」とは情報の質と量が同じであるべき。

※話されたことすべてを通訳することを事前に伝えておく
とやりやすい。(プレ・セッション)

公平・中立な立場を取る

- 通訳者は、どちらかの側に立つのではなく、中立性を保つよう努めなければならない。
 - 個人的偏見や信条を表明することを控えなければならないし、偏見の様相も示してはならない。
 - 通訳者は依頼者と個人的な関係を構築しないよう努めなければならない。
- ※通訳の状況によっては、依頼者の側に立つことを求められる場合もある。
- ※自分の信条や過去の経験などの影響で、公平な通訳ができないような場合は業務を辞退するべきである。

ぶんか たい にんしき も 文化に対する認識を持つ

- 通訳者は、文化的状況を考慮しながら、原発言のメッセージの内容と精神を伝え、メッセージを正確に訳すよう努めなければならない。
- 通訳者は、言葉だけでなく文化的差異についても、橋渡しをすることが望まれる。
- ※ 文化的な表現を目標言語の言語習慣に合わせて調整する必要があるが、場合によっては通訳の逸脱行為になる。
- ※ 文化の鑑定人のような役割を求められることがあるが、100%確信がある事柄についてのみ、意見を言うべきである。

いしき も プロ意識を持つ

- 通訳者は、自分の能力の限界を認識するとともに、引き受ける業務に対して、責任ある態度をもって臨まなければならない。
 - 通訳者は、その場の常識にかなった振る舞いをしなければならない。
 - 通訳者は、時代の変化に対応できるよう、常に新しい知識を身に付けるとともに、スキルの維持・向上に努めなければならない。
- ※ 通訳者の数に限りがあるような場合、自分の能力の及ばない仕事も受けざるを得ないことがある。その場合は、自分の能力について、依頼者に説明しておく必要がある。

プロとボランティア

ボランティアだから：

- 完璧な通訳はできなくてもしかたがない？
- 通訳内容に責任を持たなくてよい？
- 倫理原則を守らなくてもよい？

* 通訳を依頼する人にとっては、自分の命や生活がかかっているという点で、ボランティアもプロも同じ

* 災害時や医療の現場のような人の生命が関わる現場では、ボランティアでもその責任は重い

しょくむ はんい めいかく

職務範囲を明確にする

●依頼された職務内容が通訳である場合は、
それ以外の仕事をしてはいけない。

●専門的なことならについて相談に乗ったり、
助言したりしてはならない。

※コミュニティ通訳の場合、通訳者に徹するのか、それ以外の
仕事も行うのか、その境界線があいまいなケースもある。事
前に依頼者に確認しておく必要がある。

ようご がいねん アドボカシー(擁護)という概念

通訳対象者の^{せいめい}生命、^{けんこう}健康、あるいは^{そんげん}尊厳が^{きけん}危険にさらされている
^{ばあい}場合、通訳者は、アドボカシー(擁護的行為)と呼ばれる行動を取っ
てもよい場合がある。

アドボカシーとは、弱い立場にある人の権利を守るために代弁する
ことである。

通訳者が^{はしわた}コミュニケーションの^{はんい}橋渡しの^こ範囲を超えて、^{こじん}個人の
^{こうどう}ために行われる行為であると理解される。

アドボカシーは、状況を判断をきちんと行ったうえで、^{ほか}他の^{てじゅん}手段
によって^{もんだい}問題が^{かいけつ}解決されなかった^{ばあい}場合にのみ、行われるべきである。

→「中立性の原則と相反する」という反論
通訳者の役割の定義に大きく関わる

さいがい かくだんかい つか ご 災害の各段階でよく使われる語

- 常に出現割合の高い語
地震, 震度, 災害, 避難, 震災, 甚大, 激甚
- 災害後3日では多くみられたものの, その後1週間, 半月と経るごとに出現割合が減少する語
観測, 倒壊, 警戒, 揺れ, 家屋, 土砂, 対策, 搜索
- 災害後3日では少ないにもかかわらず, その後時間を経るごとに出現割合が増す語
被災, 被害, 復旧, 再開, 支援, 危険
- 災害後すぐ(3日)ではなく, 1週間・半月程度で出現割合が急増する語
断水, 仮設, 住宅, 耐震, 復興, 断層

(参照: 災害時に必要となる語彙に関する研究—「平成28年熊本地震」後1か月の新聞一面データの語彙調査— 津田智史[宮城教育大学])

ほんしょうかい 本の紹介

